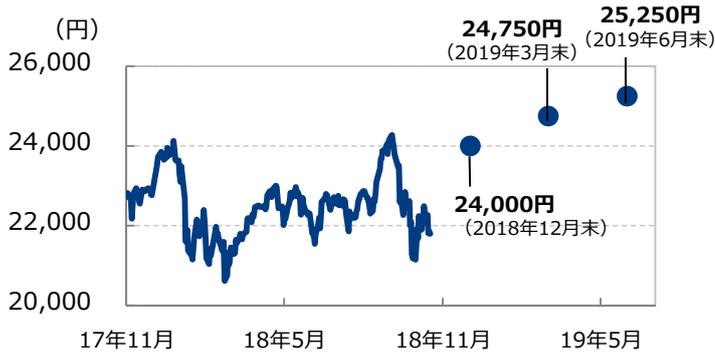




Market View 11月号

株式市場

日経平均株価：割安感から持ち直しへ



- 日本株は業績対比で相当に割安であり、売られすぎ感もあることから一旦は持ち直しを見込む。
- ただ、中期的には金融政策変更や消費増税への警戒感から頭の重い展開に。

NYダウ：年内は一旦持ち直しへ



- 株式需給の悪化が後退することから一旦は持ち直しが期待される。
- 年末以降は増益基調の継続は評価されるも、景気減速や賃金上昇が警戒され上値の重い展開へ。

債券市場

日本10年国債：横ばいで推移



- 海外長期金利の上昇、日銀の国債買い入れの緩やかな減額にサポートされる形で、国内債利回りは現行の長期金利誘導目標レンジ内の上方で推移。

米国10年国債：緩やかに上昇



- 米連邦準備制度 (Fed) が当面利上げを継続する中、米国債利回りは緩やかに上昇。
- ただし、来年後半頃には、利上げサイクル終了が意識されるため、上昇余地は限定的。

(1/2)

※2017年11月30日から2018年11月15日までのデータは実績値。2018年12月末、2019年3月末、6月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daewoo SB Investments



Market View 11月号

為替市場

米ドル/円：緩やかに円安へ



- 当面のFedの利上げ継続、日本企業による積極的な対外直接投資、原油高を背景とした日本の貿易収支悪化懸念などを背景に、緩やかな円安ドル高に。

豪ドル/円：緩やかに上昇



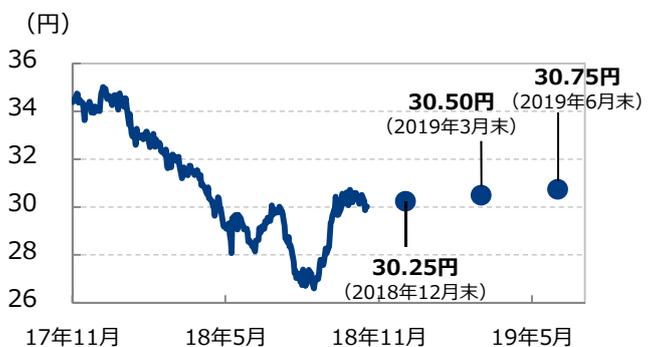
- 豪州住宅市場の調整は続いているが、豪州準備銀行（RBA）の想定通りに7~9月期の貸金上昇率が加速したことから、豪ドル円は緩やかな上昇に。

メキシコペソ/円：上昇ペースは緩やか



- 新空港建設の中止表明を皮切りに新政権への不安感が高まりつつある。
- 目先は新政権の政策姿勢に伴う不確実性から頭の重い状況が続くと予想。

ブラジルリアル/円：上値が重い展開



- ボルソナロ次期大統領への期待感が残るものの、実際の政策運営がどうなるのかについて市場は注視を続ける見込み。

(2/2)

※2017年11月30日から2018年11月15日までのデータは実績値。2018年12月末、2019年3月末、6月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daewoo SB Investments